

## 情報提供

# 『加工・業務用野菜をめぐる情勢』

中国四国農政局  
園芸特産課

中国四国地域における加工・業務用国産野菜の生産・利用拡大セミナー(平成28年9月15日(木)岡山県農業共済会館6F)資料



# 中国四国地域における 加工・業務用野菜の生産拡大に向けて



平成28年6月

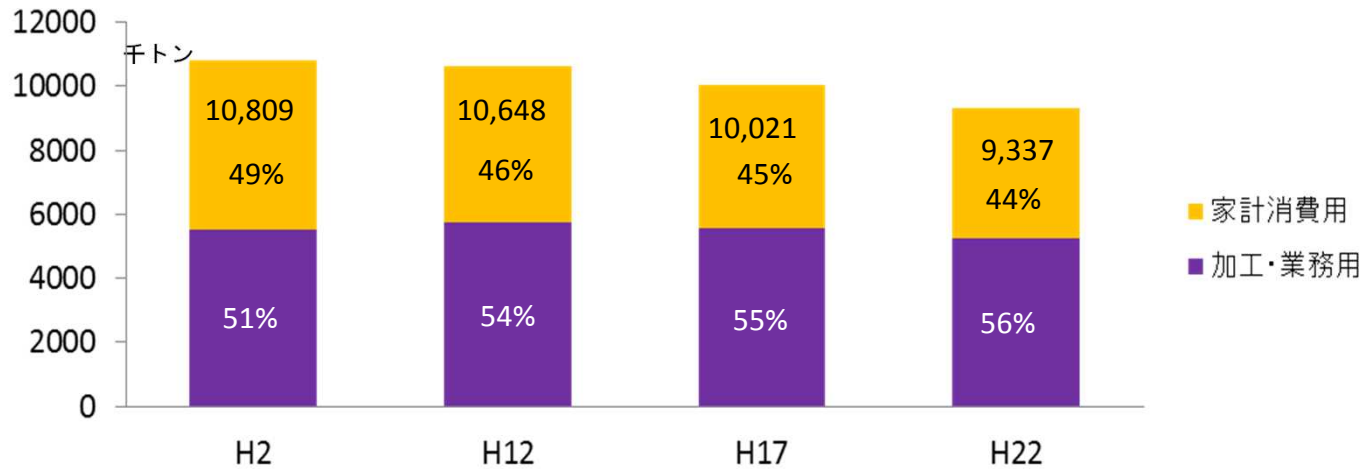
中国四国農政局生産部園芸特産課

# 1. 加工・業務用野菜の需要と国産割合

○野菜需要のうち、加工・業務用の割合は全体の約6割程度のシェアとなっており、近年増加傾向で推移しています。

○国産割合は、家計消費用ではほぼ100%ですが、加工・業務用では7割程度にとどまっています。

## ○加工・業務用野菜、家計消費用野菜の国内仕向け量の推移



## ○加工・業務用需要等に占める国産割合

区分	2年度	12年度	17年度	22年度
加工・業務用	88%	74%	68%	70%
家計消費用	99.5%	98%	98%	98%

資料：農林水産政策研究所

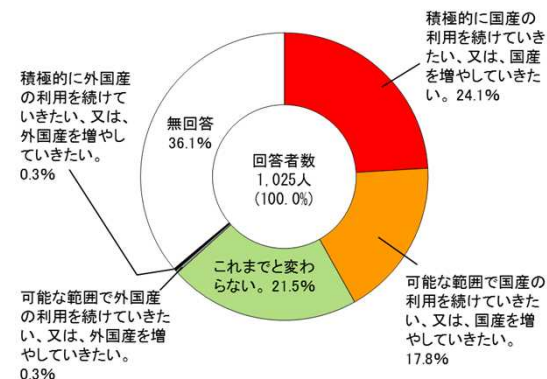
## 2. 加工・業務用野菜のニーズや価格の特徴

- 加工・業務用野菜は、家計消費用と比べて実需者・用途別ニーズが多様で、定時・定量での供給ニーズが高いのが特徴です。
- 加工・業務用野菜の価格は、家計消費用に比較して安価な傾向にありますが、契約栽培されている場合が多いようです。
- 農林水産省が行った実需者への意向調査の結果によると、国産野菜を今後利用したいとの回答が4割以上ありました。

### ○ 加工・業務用と家計消費用における基本的特性の違い

項目	加工・業務用	家計消費用
数量	・定時・定量(周年安定供給)	・変動あり
仕入価格	・定価(中期的安定価格)	・変動あり
内容量	・重量を重視	・個数を重視(定数詰め)
品質・規格等	・用途別に多様 ①調理・加工歩留まりを重視した大型規格 ②加熱調理用では水分含有率が低い品種 ③ジュース原料では製品としての色、食味等を重視 ・鮮度を重視	・外観等を重視 ・鮮度を重視
出荷形態	・ばら詰め、無包装 ・通い容器、段ボール	・袋詰め、小分け包装 ・段ボール
取扱形態	・原体(ホール) ・皮むき、芯抜き等の前処理やカット、ペースト等の一次加工が行われたもの	・原体(ホール)

### ○ 今後の国産野菜の取扱意向



### ○ 加工・業務用野菜の契約価格と生鮮用の市場価格との比較

単位: 円/kg

品目	トマト	レタス	ほうれんそう	キャベツ	だいこん	にんじん	ねぎ	平均
加工・業務用①	255	124	290	65	60	100	220	-
生鮮用②	306	154	440	80	75	145	367	-
①/②	83%	81%	66%	81%	80%	69%	60%	74%

資料: 流通関係者・食品製造業者等からの聞き取り結果

資料: 平成23年1月農林水産省調べ

注: 農林水産省情報交流ネットワーク事業の流通加工業者モニターのうち、野菜を原材料として使用している食品製造業者、食品卸売業者、食品小売業者及び外食産業に対して調査を実施。

### 3. 加工・業務用野菜の生産の効率化に向けた取組

○国産野菜の再生産ができるよう、新技術の導入による機械化一貫体系を実用化し、低コスト・省力化を図り、規模拡大を可能にすることが必要です。最近では、キャベツ、ほうれんそう、たまねぎ等で機械化一貫体系が実用化されつつあり、中国・四国地域においても機械化による経営規模拡大の事例が見受けられます。

【先進事例①】加工・業務用野菜の生産規模の拡大と加工までの一貫経営の取組(愛媛県大洲市・農業生産法人T)

- 当初は市場出荷中心であったが、経営の安定化を図るためにキャベツなど加工・業務用仕向けの野菜に特化。
- 生産においては、育苗施設をはじめ、高いスペックのトラクター、定植機、収穫機等を導入し、機械化一貫体系を構築。
- キャベツとたまねぎを約60ha栽培(H27年度末)。
- 付加価値を高めるために加工にも取り組んでおり、大規模な貯蔵施設や加工施設を整備している。



【先進事例②】国営干拓地における加工・業務用野菜の契約栽培と機械化の取組(岡山県笠岡市・有限会社E)

- 笠岡干拓は、昭和41年から国より大規模な干拓事業が行われ、平成2年に完了し、畜産、園芸等の生産用地として活用されている。
- 契約栽培を行うことで安定した農業経営が可能となることなどから、平成15年度より加工・業務用向けのキャベツ、たまねぎ、かぼちゃの生産に取り組んでいる(現在の作付面積は約40ha)。
- 実需者ニーズに対応した効率的な大規模大量生産体系をめざし、育苗から出荷まで作業の機械化を図りながら自社の栽培管理システムを構築している。



## 4. 加工・業務用野菜の実需者ニーズの把握とマッチングの支援(中国四国農政局の取組)

### 加工・業務用野菜に係る現状と課題

○中国四国地域の野菜は重要な農業生産部門ですが、価格が変動しやすく収入が不安定になる傾向にあり、加えて、生産者の高齢化、後継者の不足等に伴い、近年、作付面積は減少傾向で推移しています。  
○一方で、近年のライフスタイルの変化による食の簡便化・外部化の進展により加工・業務用野菜の需要が増大していることから、実需者ニーズに対応した国産野菜の安定供給体制が求められています。

### 課題の解決に向けた取組①

#### 【実需者ニーズの把握】

○平成26年度から、加工・業務用野菜を取り扱う食品製造業者等の実態やニーズを把握するための事例調査を実施しました。

#### 【生産者の取組事例の収集】

○平成27年度からは、加工・業務用野菜を生産する生産者や産地の先進的な取組などを把握するための事例調査を実施しています。



▲セミナーの様子

### 課題の解決に向けた取組②

#### 【セミナーの開催】

○これらの調査結果(事例)を活用して、中国・四国地域の野菜の生産者や産地と食品製造業者等とのマッチングに資するためのセミナーを開催しています(平成26年8月、27年2月、27年9月、28年9月予定)。

#### 【ホームページによる情報提供】

○これらの事例調査の結果については、当農政局ホームページに掲載して情報提供を行っています(食品製造業者等16事業者、生産者等4事例(平成28年3月末現在))。また、マッチングを支援するため、生産者や産地から食品製造業者等へ照会できるような仕組みを構築しています(7ページを参照)

#### 【今後の取組】

○今後とも、セミナーの開催とともに、実需者、生産者、産地等の調査と情報提供を継続して行い、マッチングを引き続き支援することとしています。



## 【参考】中国四国農政局のホームページにより情報提供(H26～)

アドレス→ [http://www.maff.go.jp/chushi/seisan/kakou\\_gyoumu/index.html](http://www.maff.go.jp/chushi/seisan/kakou_gyoumu/index.html)

中国四国農政局

基本政策 食料 消費・安全 生産 経営 農村振興 統計情報

文字の大きさ・色を変えるには このサイトの使い方 サイトマップ

ホーム > 生産 > 加工・業務用対策

### 加工・業務用対策

加工・業務用の農産物への需要が拡大する中で、輸入品との価格差や国内産地における食品事業者等のニーズへの対応の遅れ等により、加工・業務用の国産原材料のシェアは低い状況にあります。主要野菜について国産野菜の割合は、家計消費用においては98%である一方、加工・業務用においては平成2年から22年の20年間で18ポイント減少し70%となっています。このため、野菜の生産・流通・消費施策を検討する上で、加工・業務用需要への対応は重要な課題と位置づけています。

### 指針

- 国産原材料による加工・業務用需要への対応指針(農林水産省へリンク)

### 加工・業務用野菜取組事例

#### 調査の背景と目的

近年の生活スタイルの変化により食の外部化が進み、加工・業務用野菜の需要が高まっていますが、一方では輸入野菜の割合も一定程度で推移しており、自給率と農業者の所得向上を図るためには、産地や生産者、加工・業務用野菜を取り扱う食品製造業者等のそれぞれのニーズに対応した国産野菜の生産を拡大していくことが重要な課題となっています。このため、平成26年度から主に中国四国地域において加工・業務用野菜を取り扱う食品製造業者等実需者、産地や生産者等を対象に、加工・業務用野菜に係る取組内容等について事例調査を行うとともに、具体的な意向を公表することで新たなマッチングを支援しています。

#### 産地や生産者における取組事例

- 調査先一覧表(概要) (PDF: 93KB)
- 調査結果

所在地	生産者名	所在地	生産者名
岡山県笠岡市	農業生産法人(有)エーアンドエス (PDF: 126KB)	山口県山口市	JA全農やまぐち (PDF: 91KB)

105%



食品製造業者等における加工・業務用野菜の取組事例調査における調査先一覧表（概要）

1. 事業者の基本情報		2. 経営の概要		3. 加工・業務用野菜の取組概要	
事業者名	所在地(調査先)	取扱商品	販売額	原料野菜入荷関係 (時期、産地、量等)	生産者や産地に対する要望
① (株)サラダクラブ 真庭工場	岡山県真庭市	パッケージサラダ	229億円	キャベツ、レタスを中心に年間を通じて、途切れることのない産地リレーにより、常に旬の野菜を全国から調達。	原料については、国内産だけでは安定的に確保しにくい原料を除いて、国産野菜を中心に切り扱っている。常に旬の野菜が安定的に調達できるように契約取引を行うことで、国内産地の育成等にも協力している。
② サンプルーベ (広印青果(株)加工事業部)	広島県広島市	カット野菜	-	市場で取扱いを行っている品目で、市場、中間業者(仲卸業者)を通じて入荷。直接契約を行っている場合でも、市場を経由。	安定的な出荷体制づくりをお願いしたい。品質が一定なものを過不足なく安定的に供給して欲しい。
③ おおたけ(株)	(広島本社) 広島県広島市  (大竹本社) 広島県大竹市	ホール野菜 カット野菜 惣菜類、珍味類	約21億円	キャベツ、レタス、たまねぎ、だいこん、トマトなどを中心に多品目。九州、四国産地からの入荷量が多い。	安全な野菜を安定的に確保するため、各産地や農家と契約していきたい。 農家においては一定の数量を揃えて欲しいが、ある程度の幅をもった契約とし、早めに出荷数量を伝えて計画的な生産ができるように配慮している。
④ (株)ベジタコーポレーション	広島県福山市	カット野菜 ※平成27年2月から生産開始予定	-	主要野菜(キャベツ、たまねぎ、レタス)は、主に関東、九州産地から仕入れ予定。	少量の産地であっても受入は可能である。安定供給のため、取扱う産地を増やすことも検討している。 管内産地でも、安定的に供給してもらえるのであれば、相談の余地はある。
⑤ こだま食品(株)	広島県福山市	乾燥野菜、健康食品用野菜粉末、漬物関連商品等	約20億円	ケール、モロヘイヤ、だいこん葉、大麦若葉、よもぎ、ほうれんそう、アスパラガス、キャベツ、パセリ、赤しそ、明日葉、セロリ、ねぎ、ブロッコリー、大葉、野沢菜、チンゲンサイ、にんじん、ごぼう、だいこん、たまねぎ等。	現在は必要量を確保している。 取引先から大口の依頼があった場合、営業が産地を探しており、ロットを確保できる産地であれば、相談に応じる。
⑥ (株)アグリリンクエブリイ広島 ((株)エブリイホームイホールディングス)	広島県福山市 (広島県福山市)	青果、加工野菜(カット、漬物等)(予定)	-	キャベツ、はくさい(予定)。	現在、広島県、岡山県の産地を中心に事業を展開しているが、当社とともに取り組みたいという産地であれば、相談に応じる。
⑦ 安芸高田アグリフーズ(株)	広島県安芸高田市	精米、無洗米、白飯、塩飯、各種炊込みご飯、シャリ玉、寿司、惣菜(真空調理、クックチル)、カット野菜	約13億円	ばれいしょ、キャベツ、たまねぎ、にんじん、ごぼう、青ねぎ等。	地元産利用を優先しており、量の確保を図るため、地元JAの協力を得ながら、生産量の引き上げ及び集荷を要請している。 安芸高田地域で調達できない品目については、地域外または県外からの供給についても検討したい。
⑧ 三笠産業(株)	山口県山口市	乾燥野菜、粉末野菜	約2億円	ほうれんそう、むらさきいも、にんじん、ごぼう等、主に九州産地が中心。	加工用として、大きな規格のものを希望する。 一定のまとまった量を確保して欲しい。

⑨	(株)やおいち	山口県宇部市	外食産業用カット野菜、スーパー用カット野菜、病院向けカット野菜、民間企業(社員食堂)向けカット野菜、カップサラダ、料理用野菜セット	約6千万円	キャベツ、レタス、グリーンリーフ、はくさい、にんじん、だいこん、たまねぎ等約50種類で、全て国産。	主要な原料野菜は、北海道、東北、関東、九州の産地から調達しているが、特に、レタス、リーフ類、キャベツなど安定的に供給できる信頼できる産地があれば、積極的に相談に応じる。
⑩	(株)マルハ物産	徳島県松茂町	れんこん、にんじん、きのこ類	約25億円	中国産原料が約9割、国産原料は約1割。	地域の農産物を使って新商品の開発に取り組んでいる。めずらしい食材があれば、ご連絡いただきたい。地産地消になればと、徳島県産を中心いろいろな考えている。少量でも商品化できるように、小規模なラインを導入することも検討している。
⑪	(株)フジフーズ	香川県さぬき市	ぎょうざ、焼売、春巻き、冷凍うどん、各種冷凍食品等100種類	約20億円	キャベツ(香川県、長野県、北海道)、たまねぎ(兵庫県、北海道、九州)、にら(高知県)等。	バラツキが少なく一定の品質のものを安定供給して欲しい。原料の品質改善対策ができるような産地とのつながりを大切にしたい。
⑫	(株)サンライズ西条加工センター	(本社)愛媛県西条市(工場)愛媛県西条市	カット野菜、ホール野菜 ※平成26年11月から稼働	10億円(平成30年目標)	平成26年11月から稼働しているため、現段階では、カット野菜(キャベツ、たまねぎ)の下処理が中心で、ホールで出荷(惣菜の下処理、加熱用など)。今後、サラダ用カット野菜など高次の加工に取り組んでいく予定。	JA西条における産地の育成をはじめ、(株)サンライズファーム西条での生産を増やしていく予定である。現在は、個人との契約は行っていないが、量と価格が合えば契約も考えている。
⑬	(有)菜香 (有)土居食品	高知県高知市	カット野菜、惣菜、漬物	約1.5億円	高知県産の、はくさい、キャベツ、レタス、きゅうり、なす、なばな、オクラの利用が中心だが、県産のない期間は他県産を利用。	イタドリ、弘岡かぶ、オクラ、ししとう、なす等、高知県産の旬の野菜を中心に提供して欲しい。
⑭	(株)フードブラン	高知県淀川町	カット野菜、中華用、天ぷら用食材セット、サラダ、刺身のツマ、お茶漬け、カレー	約5億円	たまねぎ、キャベツ、グリーンリーフ、レタス、青ねぎ、トマト、にんじん、パプリカ(高知県産がある時期は県産の利用が中心)。	原料は契約した数量を安定的に出荷できることが必要である。
⑮	(株)サラダクラブ 三原工場	広島県三原市	パッケージサラダ	229億円	キャベツ、レタスを中心に年間を通じて、途切れることのない産地リレーにより、常に旬の野菜を全国から調達。	可能な限り近隣の野菜を使って、生産者や産地と協力しながら、生産者の見える製品づくりを行っていきたい。これから加工・業務用野菜に取り組みたいと考えている産地や生産者があれば、意見交換をさせていただきながら、継続的な関係を深めていきたい。 【Farm To Table 畑に近づき美味しい野菜をお客様に提供する】
⑯	青果事業部 倉敷青果荷受組合	岡山県倉敷市	青果物の卸売、洗浄殺菌カット野菜の製造・販売	116億円(内カット野菜部37.5億円)(H27年実績)	生産者との取引開始時に加工・業務用に適した規格を提示し、量や単価を定め全量買い取り契約取引を行っている。取り扱いの多い品目としてキャベツ・玉ねぎを中心として契約取引を拡大していく方向。	常に新規の御客様を開拓しており、原料野菜や丸野菜だけでなく1次加工・2次加工・最終消費者向け製品と付加価値をつけての供給と中間需給調整機能を有しており、生産者の方々には生産に集中していただける環境・供給連鎖(サプライチェーン)を構築しております。是非大切なパートナーとして共に歩んでいただける生産者の方々と共に、加工・業務用野菜の生産振興と利用拡大を図りたいと考えております。

調査先一覧表

産地や生産者における加工・業務用野菜の取組事例調査先一覧表（概要）

	1. 産地または生産者の基本情報		2. 経営の概要		3. 加工・業務用野菜の取組概要		今後の展開方針・事業者からの一言
	事業者名	所在地(調査先)	栽培作物名	加工用に取り組んだきっかけ等	栽培作物名・規模	栽培の特徴等	
①	農業生産法人 (有)エーアンドエス	岡山県笠岡市	たまねぎ、キャベツ、かぼ ちや	少子化等により、生鮮食品よりも加工・業務用 野菜の比率が高くなっている現状で、今後、さ らに加工・業務用野菜の需要が伸びるとい うことで、平成15年度より加工・業務用野菜の生 産に取り組んでいる。	たまねぎ・・・11.8ha キャベツ・・・16.9ha かぼちや・・・1ha	ほ場の排水は良いことから、畝立ては行わ ず、平畝栽培を行っている。連作障害を防ぐ観 点から、異なる作物を交代で栽培している。ほ 場ごとに土壌分析を行い適期追肥等に取り組 んでいる。	現在、輸入野菜の上位3作物の国産供給率をあげ ることを目指している。 土壌分析を実施し、過不足のない施肥や適期追肥 による野菜づくりに日々努力している。その取組に 加えて栽培技術の確立や省力化、面積の拡大及び 物量による低価格・省力化への対応、地域の生産 者との協力、加工業務用野菜への特化等に取り組 んでいる。今後も近隣の農家の見本となるように 日々努力していきたい。
②	JA全農やまぐち	山口県山口市	たまねぎ、キャベツ、ばれい しよ、にんじん、かぼちや、そ の他	集落営農法人等の経営安定のために、水田で 栽培が可能な園芸作物を検討した結果、たま ねぎとキャベツを推進することとした。加工・業 務用野菜は、価格変動がなく、安定経営が図 れること、また、簡素化規格による労働軽減が 図れることから、平成20年度からたまねぎ、25 年度からはキャベツに取り組んでいる。	たまねぎ・・・84t キャベツ・・・157t ※平成26年度出荷実績	地域や県域で病害虫に強く、在圃性がある品 種を選定し、キャベツは2kg玉中心の生産を 目標に8月下旬～9月上旬の適期定植の指導 を行っている。その後、関係者での定期的な 巡回指導を行い、防除・追肥の徹底を行って いる。	たまねぎは、出荷調整作業・労力の軽減のため、 キャベツは法人における冬場の労力・売上の確保と して集落営農法人及び大口生産者を中心に、土地 利用型作物として推進拡大していきたい。 山口県の重点品目として、今後更なる産地拡大を 考えている。取引及び消費拡大についてよろしく 願います。
③	(有)細川農園	徳島県吉野川市	ねぎ、にんじん、ハウスしよ うが、サニーレタス・玉レタス、 スイートコーン	にんじんを中心に、毎年少しずつ規模拡大を 行ってきた。現在の出荷先より、加工・業務用 ねぎの栽培依頼があり、安定的な経営を図る ことができることから取組を始めた。今後は、に んじん、レタス類についても、加工・業務用野 菜への取組を検討したい。	ねぎ・・・2.5ha	土づくりにこだわり、減農薬、減科学肥料栽培 に取り組んでいる。 連作障害回避のために、ブロックローテーション による栽培を行っている。	加工用ねぎの面積や、契約を拡大することは勿論 のこと、にんじんやレタス類についても、契約先を見 つけ、取り組んでいきたい。 野菜づくりは、土づくりと考えている。土づくりに努力 しながら、安心・安全な野菜づくりを目指してい きたい。産地にとっていい人材が確保できるように、人づ くりにも協力していきたい。
④	農事組合法人 たいよう農園	愛媛県大洲市	キャベツ、たまねぎ	平成18年に露地野菜全般の生産を開始し、市 場出荷では経営が安定しないことから、23年よ り加工用キャベツの契約栽培に取り組んだ。 26年より加工用たまねぎに取り組んでいる。	キャベツ・・・152ha たまねぎ・・・51ha	農家との契約を進めるために、問題の洗い出 しを行い、農家のニーズに対応した生産体制を 行っている。	キャベツの加工ライン、にんじんの全自動皮剥きライ ン、たまねぎの皮剥機を導入して加工ラインの強化 をおこなっている。 農地を耕すことは国を耕すこと、日本の農業問題の 解決を願っています。作物を選択し、そこへ経営資 源を集中。日本一の農業生産や食品加工のスペク トを保有しています。 生産・加工・冷蔵・物流・販売と生産から販売までを 一元管理して、6次産業化を追及します。

3 照会票参考様式

加工・業務用野菜の供給に係る照会票 (FAX送信票)

【宛先】 平成 年 月 日

様

前略

中国四国農政局のホームページ「食品製造業者等における加工・業務用野菜の取組事例」にて、御社の取組内容を拝見しました。現在、当方(産地)におきましては、加工・業務用野菜の供給を検討しておりますところ、御社との取引を希望いたします。以下のとおり、当方(産地)の生産情報等をお送りします。

後ほど、お電話を差し上げますので、御対応方よろしくお願い申し上げます。

産地又は生産者名 (担当者名)	
所在地又は住所	
電 話	- -
FAX	- -
Eメール	
現在生産している 主な野菜名・収穫時期・栽培面積・収穫量等	(例)夏秋レタス(結球レタス、リーフレタス) 〇月~〇月、〇a、〇t
今後の生産拡大の 意向、PR等	(例)夏秋レタスを、現在より30a作付け可能です。



★産地から実需者への積極的な提案をお待ちしています!

【産地、生産者】



【実需者】